

# 凍結防止についてのお知らせ

## 1. 常時使用する場合

- ①ブレーカーをおろさないようにしましょう。
- ②給湯器のコンセントを抜かないようにしましょう。

## 2. 長期間留守にする場合

- ①ブレーカーをおろさないようにしましょう。
- ②凍結防止のため水抜きをしましょう。

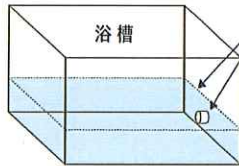
### ※凍結するとどうなるの？

風呂釜や給湯配管が破裂して、水漏れを起こしたり給湯器の異常が起きる危険性があります。

凍結による故障や破損した場合は、修理費用や交換費用を負担して頂くこととなりますので冬季間は就寝前や外出前に水抜きする習慣をお願いします。

### ● 追い炊き給湯器

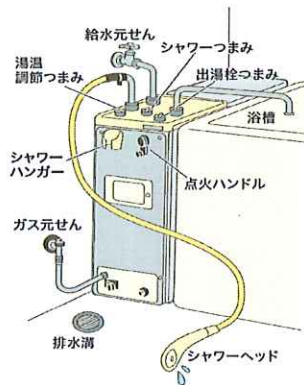
追い炊き付き給湯器は、凍結を防止するために気温が下がると浴槽内の水(お湯)を循環させるようになっています。したがって、冬季は常時浴槽の循環穴より5cm以上水が入っている状態にしてください。



水位は下の循環穴より5cm以上で!  
寒冷期は自動的に循環穴より給湯器までの間で水を循環させます。(若干作動音がある場合があります)

### ● バランス釜の凍結防止方法

- 1 器具(ガス)栓つまみを「0」の位置に戻します。
- 2 ガスの元栓を閉めます。
- 3 給水元栓を閉めます。
- 4 出湯管つまみ、シャワーつまみ、及び湯温調節つまみを止まるところまで左に回します。
- 5 水抜き栓つまみを左に回すと、つまみ中央の穴から水が抜けます。
- 6 この時シャワーヘッドをシャワーハンガーから外し、床に置いてシャワーホース内の水も抜いてください。



※①～⑥は次回のお使いになるまで、そのままにしておいてください。  
※次に使用するときは、各つまみを元の状態に戻し、一度水を通して水が出ることを確認してから点火してください。  
※バランス釜の機種により操作方法は異なります。ガス開栓の立ち会い時、ガス会社の担当者より操作方法の説明を受けてください。

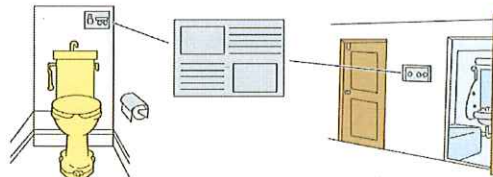
### ● 水抜き栓

冬は凍結によって水が止まったり、水道管が破裂する恐れがあります。凍結防止の水抜きを忘れないよう注意しましょう。

#### 水抜き栓が室内にある場合

##### 電動式

説明書に従って操作してください。

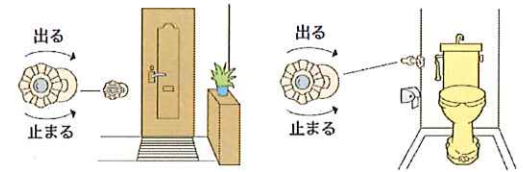


トイレ内壁に取り付けられている場合

台所脇に取り付けられている場合

##### ハンドル式

水を抜くときは蛇口を開けてから水抜き栓のハンドルを右に回します。水を抜いたら蛇口は必ず閉めてください。水を使うときは左に回してください。

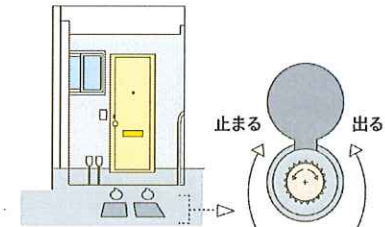


玄関脇に取り付けられているハンドル手動式水抜き栓

トイレの室内の壁に取り付けられているハンドル手動式水抜き栓

#### 水抜き栓が部屋の外の通路に埋設されている場合

水抜き栓のフタを開けるとハンドル手動式がありますので、図のように下に押しながら手で回してください。



一例ですが、動画でもご紹介させていただきます。

凍結予防



凍結解消



コールセンター 365日24時間受付

お住まいの住居に関する不具合やお困り事のご連絡

ご入居専用 山一地所 お客様受付センター

0120-161-365

QRコードから簡単に番号登録できます▶

